

## 京成金町線（京成高砂駅付近）高架化工事を実施します

成田新高速鉄道開業に伴う、京成高砂駅付近の踏切遮断時間の更なる増加を防止するため、京成本線の立体化実現までの対策として、京成金町線京成高砂駅付近の高架化工事を実施いたします。

工事の概要については、下記の通りです。

### 記

#### 1. 工事の目的

現在、京成高砂駅は京成本線と京成金町線、北総線の3線が合流し、列車本数が非常に多いため、当該駅付近の高砂1号、2号踏切は、ピーク時間帯一時間あたりの遮断時間40分以上の開かずの踏切となっています。また、平成22年度には北総線を経由する成田新高速鉄道が開業する予定であり、列車本数の増加による遮断時間の増加が懸念されます。

この問題に対する抜本的対策として、現在、当社と関係機関において立体化に向けた検討を行っておりますが、本年9月に完了した短期対策に引き続き、中期対策として京成金町線を高架化し、高砂1号、2号踏切における遮断時間の増加防止と鉄道の安全性の向上を図ります。

なお、既に実施済の対策を含め、高砂1号、2号踏切における短期・中期・長期の安全対策は以下の通りです。

#### (1) 短期対策（実施済）

- ・ 手動式踏切の自動化（高砂1号、2号踏切）
- ・ 自転車・歩行者通行帯の拡幅（高砂1号、2号踏切）
- ・ 自動障害物検知装置設置（高砂1号、2号踏切）

遮断桿が降下後、踏切道内に自動車等が取り残された場合に、センサーで検知し、列車を停止させる装置

- ・ 警報時間制御改良（高砂1号、2号踏切）
- ・ オーバーハング警報機設置（高砂1号踏切）

踏切道路上部に赤色灯を設置した警報機をオーバーハング型といい、より視認性が向上する

- ・ 自転車・歩行者通行帯の視認性向上（高砂1号踏切）

( 2 ) 中期対策 ( 今回の対策、成田新高速鉄道開業までに実施 )

金町線高架化

- ・ 工事期間 平成 1 8 年度 ~ 平成 2 2 年度
  - ・ 工事範囲 京成金町線 京成高砂起点 0 k 0 5 0 m ~ 0 k 6 5 0 m  
( 工事延長 6 0 0 m )
  - ・ 工事主体 京成電鉄株式会社
- 高砂駅南側のエレベータ設置 ( H 1 9 年度設置に向け協議中 )  
横断歩道橋の撤去及び代替通路の整備

上記の対策工事に当たっては、関係者や近隣住民へ事前に工事の内容を周知いたします。

( 3 ) 長期対策 ( 完成までに 1 0 年以上を要する対策 )

- ・ 道路と鉄道の立体交差化 ( 関係機関と検討中 )

京成高砂駅付近の立体交差化については、成田新高速鉄道線の乗入れが決まった平成 1 3 年度から、「開かずの踏切対策及び街づくりに関する勉強会」( 東京都、葛飾区、江戸川区、京成電鉄株 ) を開催し、立体化に向けた検討を進めております。

当社は、成田新高速鉄道線の開通に伴い、鉄道立体化の必要性を強く認識しており、今回の金町線高架化工事に引き続き、一日も早い事業化に向け全力を挙げて取り組んでまいります。

## 2 . 工事の効果

- ( 1 ) 高砂 1 号、2 号踏切の遮断時間増加を防止します。
- ( 2 ) 京成金町線のダイヤ編成を見直し、利用者の利便性向上を図ります。
- ( 3 ) 高砂駅駅舎南側にエレベータを設置し、バリアフリー化を図ります。
- ( 4 ) 高砂 1 号踏切をまたぐ代替通路を高砂駅駅舎と接続し、利便性の向上を図ります。
- ( 5 ) 金町線の高架化により高砂 2 号踏切道の延長が短縮され、安全性が向上します。
- ( 6 ) 高砂 ( 金 ) 3 号踏切の遮断時間を大幅に短縮します。

以 上

# 工事概要図

## 平面図



## 縦断面図

